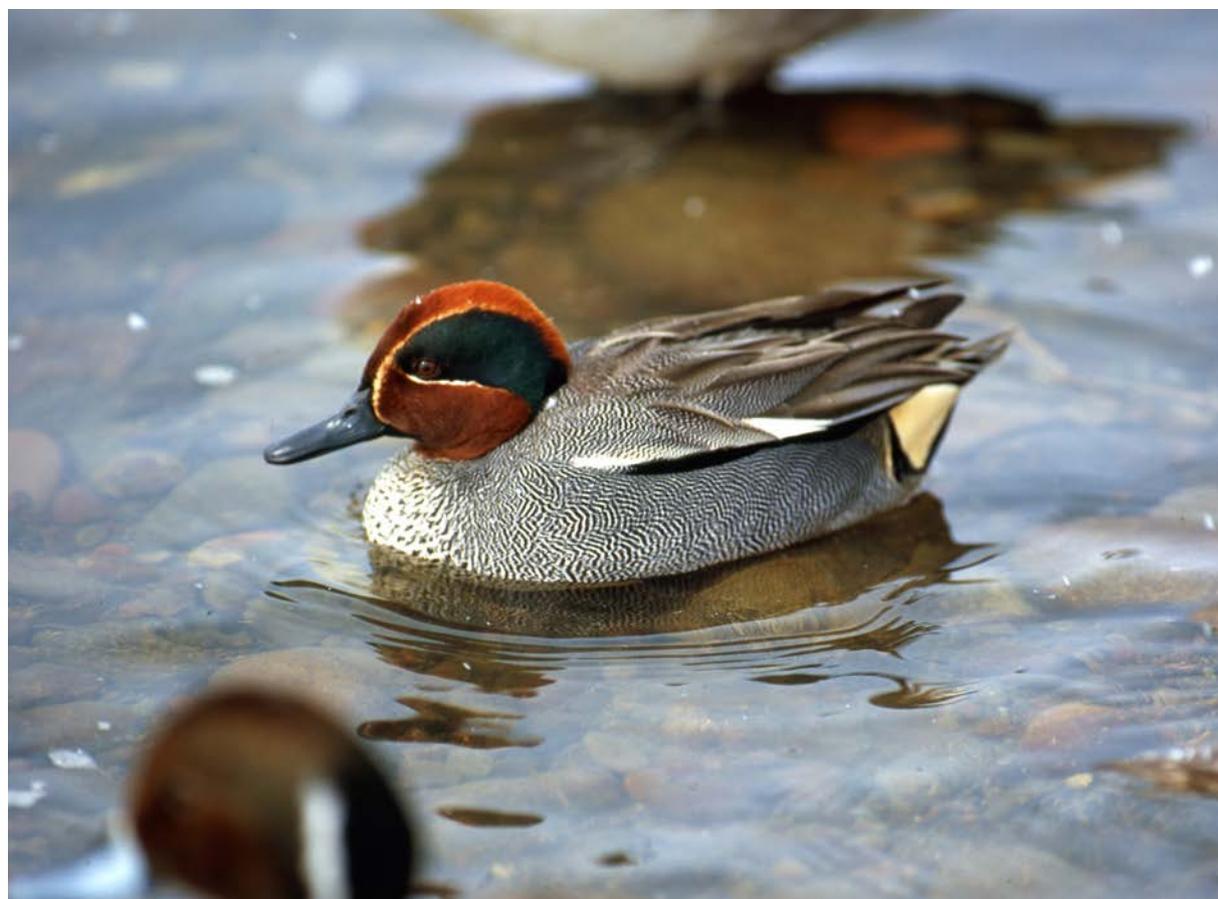


日本ビオトープ協会 2020

ビオトープ No. 45

特集「水辺のビオトープ：湖沼と湿地」



コガモ
(北海道旭川市永山新川)
写真 内海 千樫 氏 提供



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

目次



巻頭言	頁
熱帯湿地と水辺ビオトープ 鈴木 邦雄	1
特別寄稿	
越後平野の変遷とラムサール条約“湿地都市”認証への期待 大熊 孝	2
シリーズ連載	
ビオトープのいきものたち -その31- 大分県姫島のアサギマダラ 大海 範男	6
会員・BA等投稿	
イラクサに育つ蝶達 その3 アカタテハ 内海 千樫	8
水辺のビオトープの紹介 いわてクリーンセンターのビオトープを例に 吉田 馨	10
協会活動状況	
各地区委員会(8地区)活動 計画・報告等 ／本部 お知らせ・ご報告 各地区委員長／協会事務局	12
連載コラム	
里川のゆくえ その1 自然を限る都市河川 立川 周二	16

◇表紙・裏表紙写真の説明◇

・表紙「コガモ」

日本で見られる一番小さなカモでハトより少し大きい。冬鳥だが、9月から翌年の4月までと比較的長く見られます。

・裏表紙「ザゼンソウ、ミドリザゼンソウ」

開花時期は1月下旬から3月中旬で、花が発熱する珍しい植物。雪を溶かし、虫を集めます。ミドリザゼンソウは珍しく、なかなか見られません。

撮影：内海千樫氏

北海道 幌加内ビオトープ研究会代表、日本ビオトープ協会会員、幌加内町在住

